



# 西鉄組合新聞

【発行所】福岡市中央区大手門1丁目4番16号  
TEL092-771-2931 西日本鉄道労働組合  
【編集発行者】徳永 靖幸  
定価 1部 30円 送料共  
(この新聞は組合員の中から購読料を徴収しています。)  
西鉄労組ホームページ (<http://nnr-u.org>) ▶

**組合員の皆様、ご家族の皆様  
謹んで新春のお慶びを申し上げます**

# 2024年 新年のご挨拶

運動を前進させていきましょう。

合員の皆様一人ひとりの力を集結し、ともに  
向かた取り組みをおこなっていきます。如  
昨年を振り返つて

2023年5月8日、新型コロナ感染症は  
感染法上の2類相当から5類に移行し、三  
動制限も解除され、コロナ前には及ばないま  
での輸送業やサービス業では回復の兆しがみ  
られます。2020年、日本で初の感染者が発  
見されて以来、エッセンシャルワーカーとし  
ての使命を果たし、昼夜問わず、業務を遂行  
するとともに、様々に変化した労働環境にち  
いても対応していただいた組合員の皆様に  
あらためて敬意を表し、感謝申し上げます。

を国に求め、国民の移動する権利を確保するためご尽力いたきました。今日に至るまで西鉄労組の労働運動にとっても多大なる貢献をしていただいたことは言うまでもありません。あらためて心より哀悼の意を表します。

さて、西鉄労組は、昨年9月の第158回定期大会で、2023年度運動方針を決定するとともに、現執行部は2年目がスタートいたしました。今まで受け継がれてきた歴史と伝統を承継するとともに、24春闘をはじめとする主要闘争や、諸課題の解決を向けて取り組みをおこなっていきます。会員の皆様一人ひとりの力を集結し、ともに運動を前進させていきましょう。

議員の渕上貞雄先生がご逝去されました。渕上先生は1957年に西日本鉄道にバスの車掌として入社され、西鉄労組や九州連など30年以上労働運動に取り組まれ、1989年福岡選挙区の参議院議員補欠選挙で初当選されて以来、21年間、国政で活動されました。その間、社民党の幹事長や副代表、選対委員長、私鉄総連の顧問などを歴任され、長きにわたって私鉄職場の経験を生かした、国民の足である公共交通の大切さ

組合員の皆様ならびにご家族の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。且ごろより、労働組合の諸活動に対しても理解と協力を賜り、執行部を代表して心より感謝申し上げます。また、年末年始も業務に精励されて、組合員の皆様、お支えいただいているご家族の皆様に、心より敬意を表します。

**執行部と組合員が一丸となり、明るい未来を切り拓く**



西日本鉄道労働組合 執行委員長

古賀  
栄

平和を脅かす惨事が相次いでいます。一昨年2月に、ロシアがウクライナへ侵攻を開始して2年が経とうとしています。また、昨年10月にはハマス等パレスチナ武装勢力がガザストライエルにロケット弾を発射して軍事衝突が始まり、いずれもいまだ収束の糸口は見当らず、なんの罪もない子どもたちや多く民間人の尊い命が奪われています。どのよな理由であれ、武力によって封じ込める行方は決して許されるものではありません。民主主義を擁護し、平和な社会を築いていくため総連の方針に則り平和運動を推し進めています。

## 政治・政策について

これまでの西鉄労組の長い歴史の中でも  
幾多の困難や苦境があつたことは言うまでも  
なく、先輩方もその度、みんなで議論を交  
わし、険しい壁を乗り越えたはずです。本年は  
も引き続き、組合員の皆様とともに知恵を  
出し合い、執行部と組合員の皆様が一丸と  
なった組織運営をおこない、明るい未来を切  
り拓くため共に頑張りましょう。

末筆ではございますが、組合員の皆様な  
らびにご家族の皆様のご健勝とご多幸をお  
祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただ  
きます。

目前に迫った24春闘においては、2023年度決算が墨字の見込みであるものの運輸業などコロナ前の水準には戻り切れていない状況を鑑みれば、厳しいたかいとなることを覚悟して臨まなければなりません。具体的なたたかいの進め方は、西鉄労組2024年春闘方針(案)で提起し、現在の原油価格や、あらゆる物価の上昇などにより組合員の生活環境が逼迫している現状を緩和すべく、組合としては、「組合員の雇用と生活を守る」、「生産では協力するが分配では対立する」といった基本スタンスを堅持したうえで、「人への投資」の必要性を強く訴えています。

私鉄総連は、2025年7月施行予定の第27回参議院議員比例代表選挙へ「もりやたかし」組織内議員を擁立することを決定しました。交通政策をはじめとする政策実現のためには、私たちの思いを議会へ届ける代弁者が必要不可欠です。「誰もが安心して働き続け暮らせる社会を実現させる」この決意をもつて「もりやたかし」再選に向け、取り組みを強化していくますので組合員の皆様の絶大なるご支援と支持者拡大を心よりお願い申し上げます。

組合員、そのご家族の皆様にあらためて感謝申し上げます。

佐々木県議は、20年間、県政はもとより、西鉄グループに係る、道路・鉄道高架事業、空港関連、特にコロナ禍では、福岡県から2020年、21年に関しては事業継続支援金として、また22年および23年は燃油高騰対策費として4年連続で支援金を確保し、西鉄グループ企業への多大なるご尽力をいたしました。政治活動と政策活動は車の両輪と捉え、引きつき各級議員と連携を深め、政策実現に向けた取り組みを進めます。

私鉄総連組織内国会議員、もりやたかし、参議院議員は、当選から4年半が経過し、これまで交通政策要求の実現はもとより、感染症対策、交通運輸労働者の待遇改善など、

副執行委員長	本間 大介
書記長	松本 洋次
組織部長	渡辺 裕二
自動車対策部長	轟馬 隆行
鉄道対策部長	牧野 英人
兼業対策部長	井上 貴善
自動車対策執行委員	徳永 靖幸
鉄道対策執行委員	野田 正満
財務部長	末次 和美
調査部長	川瀬 直之
書記局	秋月 明美
書記局	長谷川 紀子
組織局	山崎 真季

# 2024年 新年のご挨拶



西鉄労組準組織内議員  
福岡県議会議員(福岡市東区)  
**佐々木 徹**



西鉄労組準組織内議員  
福岡県議会議員(福岡市東区)  
新年明けましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。不確実性が大きく増大する激動の社会においても、事業の完成度を高めながら、福岡県の経済・社会を支え、生活を豊かにする役割を果たし続けるためにも、全ての仲間が活き活きと働き、明るい将来展望を描くことができる仕事、職場を創り上げていかなければなりません。働く者の立場から現状と課題を見定め、未来を見据え、柔軟な発想で行動していく必要があります。

組合員の皆様、ならびにご家族の皆様におかれましては、穏やかで健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年4月の統一地方選挙におきましては、皆様の温かく力強いご支持ご支援をいただき6期目を勝利する事ができました、感謝申し上げます。また、日頃より私の議員活動に対しても理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

近年、交通を取り巻く状況も大きく変化しています。社会のデジタル化の進展に伴い、自動運転やA.I.などの技術を活用したコミュニティバスなどの導入、先端技術を活用した環境対応自動車や先進安全自動車の普及が進んでいます。そして、2005年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする

年頭のご挨拶と言えば、健やかな新年を迎えていたことに、お慶び申し上げます。ただし、この4年半を振り返れば、激動の数年であつたと言つても過言ではありません。特に、私鉄をはじめとする人流物流観光サービスの現場の仲間や家族にとつては、極めて厳しい数年であったと思いまして、厳しい状況のなか歯を食いしばり、乗り切っていたといったことがあります。厳しい状況の中ではあります。多くのみなさまのご支援により国会に送っていただき、早くも4年半が経過しました。この間、国土交通、厚生労働、予算などの各委員を経験し、2022年の第210臨時国会より、国土交通委員会の野党筆頭理事の役職を拝命し、第212臨時国会でも引き続き国土交通委員会野党筆頭理事を担うことになりました。これもひとえにみなさまの力強い後押しのおかげと感謝申し上げます。

これまでの自然災害による経験を活かし、防災・減災対策をはじめ、災害に強いまちづくりを推進して参ります。今後も山積する課題・問題に誠心誠意取り組んで参ります。これからも変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。結びに、皆様の益々のご健勝ご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

その後の分散会「24春闘」では、政治離れ世代と言われる若年層にどうすれば政治に興味を持つてもらえるか、24春闘を盛り上げていくため青年女性としての役割について意見交換をおこなった。2日目の第3講座では、辻川哲也氏より「女性参画、女性保護について」と題し、男女共同参画社会基本法やクオータ制について学び、グルーピングディスカッションをおこなった。

私は私鉄青年女性集会に初めて参加しました。第1講座では、ライドシェアなど様々な問題が公共交通に降りかかっていると考えさせられました。第2講座では、人材不足や労働環境改善には程遠く、まだまだ多くの課題を受け入れるための設備が整っていないことが問題で、女性が活躍していくには職場環境改善がまだまだ必要だということがわかりました。この3日間で学んだことはとても貴重な経験になりました。今回学んだことを今後の活動に活かしていくたいと思います。

私は第26回青年女性集会に参加して、全国の仲間と学習、交流を通して政治や春闘、女性参画について学習しました。「24春闘について」と題した第2講座では、私鉄春闘の歴史や24春闘統要求の考え方を説いていただきました。定昇とペアの関係を学習し、今まで漫然と考えていたものがはつきりと理解することができました。分散会で



私鉄総連第26回青年女性協議会  
開催日：12月11日(月)～13日(水)  
会場：静岡県掛川市

## 全国の青女の仲間と共に学び、交流した3日間

会集会で分散会報告をおこない、最後に私鉄総連青年女性協議会熟田副議長の音頭による「団結がんばろう」で会は閉会した。

### 青女集会に参加して



多くの貴重な学びを得る機会に  
土井分会 宮本 健太

### 福岡高速分会 (高友会)を開催

福岡高速分会では、11月27日に3年ぶりとなる高齢者の会(高友会)を開催しました。会を立ち上げてから、コロナ禍などにより中止、延期が続き、ようやく2回目の開催にこぎつけることができました。3年間のうちにマスター社員になつた方、新たに高友会に加入された方などを含め、博多区にある万葉の湯に一堂に会し、大いに盛り上りました。所長、首席、分会長に加え、保健婦の河野さんにも参加いただき、健康相談などにも応えてもらいました。これからも、1日でも長く高速バス乗務を続けることができるように、健康に留意して、来年の高友会開催を楽しみに終りました。

### 【教宣部長】吉田正朋



吉塚分会では12月17日、寒いなか営業所の年末大掃除を行いました。普段、清掃が行き届いていない所や、溝の掃除をしてきれいになりました。気持ちを新たに、来年も無事故で頑張りたいです。

### 【教宣部長】川島雅之



### 青女協 物販販売のお知らせ

2023年5月には感染症も5類へ移行し、青女協としても様々な活動をおこなうことができました。今年も中央幹事会で協議の結果、物品販売の取り組みをさせていただくことを決定しました。集まった資金は、青年女性協議会の年間運営として、総連・地連・連合・西鉄での活動資金とさせていただきます。

各分会・組合員のみなさまにはご負担をおかけいたしますが、今後とも青年女性協議会の活動にご理解とご協力ををお願いいたします。

【青年女性協議会】

現在、日本国内で流行しているインフルエンザ。その対策として、博多分会の取り組みとしては、バス車内の集団感染を避けるために、車内の換気、アルコール消毒を徹底し、お客様に安心してご乗車していただけます。バス車内での集団感染を防ぐために、タバコのポイ捨て、ゴミ拾いなどに取り組んでいます。

### 福岡高速分会 (高友会)を開催

バス車内のインフルエンザ感染対策



24春闘を理解し、全国の仲間と交流  
柳川乗務分会 田島 啓暉

### 【教宣部長】田中一徳



### 【教宣部長】吉塚分会





